

	牧師 山本護	司式 露木淳司	奏楽 柳野真弓
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	142 さかえの主イエスの		讃美歌 II-177 あなたも見ていたのか
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	イザヤ書 53:5~6 マタイによる福音書 27:45~50		黙 禱 主の祈り 564
讃美歌	262 十字架のもとぞ		頌 栄 540 みめぐみあふるる
説 教	『父・御子・人間の一体性』		祝 禱 後 奏

十字架での最後、「イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた(マタイ 27:50)」。言葉にならない叫びであった。その胸中は直前の言葉、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか(27:46)」だろうか。最後の叫びの意味について、そこに神の子の忠実さを読み取ろうとすれば、「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます(ルカ 23:46)」とか、「成し遂げられた(ヨハネ 19:30)」と聞こえるかもしれない。それにしても、「なぜわたしをお見捨てになったのですか(マルコ 15:34,マタイ 27:46)」という最後なのか。神の子が、混乱しつつ死なんとしているこの時に、その父「主なる神」は何をしておられるのか。

「彼が刺し貫かれたのは、わたしたちの背きのためであり、彼が打ち砕かれたのは、わたしたちの咎のためであった(イザヤ 53:5)」、「わたしたちは羊の群れ、道を誤りそれぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて、主は彼に負わせられた(53:6)」。咎や罪をすべて「主は彼に負わせた」。十字架の神の子がどうかも大事だが、父である神が御子に何をなさっているのか、を問うことも重要。

私たちの背きを、咎を、罪をすべて、独り子イエスに「負わせられた(53:6)」神は、この時どこで何をしているのか、憤って問うてしまう。「なぜわたしをお見捨てになったのですか(マタイ 27:46)」という叫びに答えてほしい。神の愛を体現し、神の命をもって奇跡を起こし、圧迫を恐れず踏みつけられた人と共にあり、真っ直ぐで、清々しく、御心に忠実だったイエスのこれほどの混乱に対して、黙っているおつもりか。預言者や旧約の詩人にはあれほど語りかけたのに、なぜここで沈黙されるのか。

ゲッセマネでの祈りが思い起こされる。「アッバ(父ちゃん)~この杯を取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心が行われるように(マルコ 14:36)」。激しく逡巡する祈り、納得できないまま三度もくり返されて、時が来たために立ち上がった(14:41)。この祈りが十字架でいっそう激しく、いっそう深くから発せられているのか。「エリ／わが神、エリ／わが神(マタイ 27:46)」、「アッバ／父ちゃん(マルコ 14:36)」この呼びかけは、御子が父と一体であることの証し。そしてまた「レマ、サバクタニ／なぜわたしをお見捨てになったのですか(マタイ 27:46)」という人間の弱さとも、一体であった。

父なる神は、御子イエスと一体であった。あっ、まさか、この時、父なる神もまた十字架につけられていたのか。それも「神」なる超越性を離れて、イエスと一体になり、私たちと変わらない弱い存在として、十字架の上で苦しんでいた。なんということか。十字架とはなんと凄まじい出来事だろう。「わたしたちの罪をすべて、主は彼に負わせられた(イザヤ 53:6)」。イエスを犠牲にした主なる神は、御自分もまた十字架で犠牲となられた。神は私たちのために、御自身をも見捨てたのだ(マタイ 27:46)。

「十字架の言葉は滅んでいく者にとっては愚かなものだが、わたしたち救われる者には神の力である(1コリント 1:18)」。敬虔で求道的であっても、十字架の叫びを徹底して聞かなければ滅んでいくだろう。「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか(マタイ 27:46)」このイエスの混乱にしばらく留まっていなければ「十字架の言葉」は聞き取れまい。私たちすべてを愛するために、十字架で発せられた、御子のものとも神のものとも判別できない、あの不可解な叫びこそが「神の力」なのだ。

十字架の言葉を解するのではない 感じる前に 味わう前に その言葉を聞いている 眼の視野領域は限られるが 耳は全方位に開いている 兄弟姉妹の呻きがあちこちから 十字架の呻きと共に

次主日 4/17 は復活祭、聖餐式もおこないます。コロナのため祝会はしません。4/24 は総会、礼拝後に簡単な昼食をして始めます。会員の皆さんは予定して下さい。4/16(土)1:30~メデカルカエ。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。